



寒中お見舞い申し上げます。昨年はようやくアフターコロナとなり、秋祭りをはじめ地域のイベントも盛り上がり改めて直接お会いすることの大切さを実感することができました。年が明け元旦には、能登半島地震で大規模の災害が発生、亡くなられた方々へのお悔み、被災された方々へのお見舞いを申し上げますと共に、我々ができる支援を進め、本市での災害対策の強化も図って参ります。

堺市議会議員(西区) 上野 あつし

昭和49年7月19日 堺市西区生まれ 賢明学院小学校・清風南海中・高 卒業
 平成11年 広島大学 法学部を卒業後、住友金属鉱山株式会社に勤務
 平成16年 社会福祉法人 あすなろ会 堺福泉療護園にて介護職として勤務
 平成21年 同法人(保育園、障害者施設、特養等)理事長 堺福泉療護園施設長に就任
 一般社団法人 堺高石青年会議所 第59代 理事長、 堺ライオンズクラブ 会員、NPO法人オーキック 理事
 信太山自衛隊協力会幹支部 理事、 社会福祉士、 サッカーC級コーチライセンス取得

G7大阪・堺貿易大臣会合 開催！(令和5年10月28・29日)



昨年令和5年5月、我国が議長国として第49回先進国首脳会議(G7。参加国：日本・イタリア・カナダ・フランス・アメリカ・イギリス・ドイツ・EU)を広島で開催。これに前後して、日本各地で各国大臣の会合が行われ、大阪府・堺市では、10月に貿易大臣(日本では経済産業大臣)の会合が開催されました。仁徳天皇陵を参拝、ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺で歓迎レセプション、本体会合は府立国際会議場にて。本市の歴史や文化、魅力を世界へ発信、都市格の向上、そして今後、大規模な会議・研修・セミナー、MICE誘致のための知見と経験を積む絶好の機会を得ることとなりました。

会合を契機として、市内の子どもたちが国際感覚を身に着ける機会となるようG7各国の文化に触れる取り組み(各国のメニューを取り入れた給食、各国大使・領事による特別授業等々)も行われています。



レセプションで披露したPR動画



令和5年度12月補正予算

令和5年度12月補正予算

- ・住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金 36,000千円
住民税非課税世帯に1世帯当たり7万円を給付
- ・中小企業に対する先端設備等導入支援 75,000千円
生産性を向上させる先端設備等の取得に対する補助

・プレミアム付商品券による消費喚起支援

..... 1,252,000千円

1口5,000円で6,500円分使えるプレミアム率30%の「商品券」を6万口発行

浜寺公園150周年記念事業



昨年(令和5年)、西区にある浜寺公園が開設150周年を迎えました。9月30日には、「『浜寺公園150周年記念イベント 子どもが主役「MIRAI」～みんなみんなつながっている～』」を開催するため、大阪府や高石市、浜寺公園指定管理者、堺市西区の4者が連携する枠組みを組織し、浜寺公園150周年記念イベント実行委員会と共催し、西区が誇る歴史や文化、暮らし、行事の取組など多様な魅力を区内外に発信する事業が実施されました。



市民人権委員会(上野の質疑)

■西区長のこれまでの取組について

現任の大谷龍雄西区長は、令和3年度から3年間の任期で庁内外を問わず公募し、結果、民間から選任されることとなりました。

【期待される役割】

- 地域のステークホルダーと連携し、区民が安全に安心して暮らすことができるよう住民サービスを提供し、区政全般のマネジメントを確実かつ安定的に遂行する。
- 西区の特色を活かした魅力ある区の形成として歴史や文化、暮らし、行事などの多様な魅力を区内外に発信する“西区ブランド発信事業”を推進する。
- これまでの民間企業などでの経験を活かし、民間視点を取り入れた改革マインドで区政推進に努める。

【取組状況】

- 業務やコミュニケーション活動の中で、民間と行政の考え方やスピード感、着眼点、深掘り、変化の気づき等の違いを実感している。
- 広報紙や区長挨拶発信時における細かいこだわりや、X(旧ツイッター)やインスタグラムなどSNSの発信において、子どもや子育て世代などターゲットを明確にした投稿や、若手職員によるコラボ企画、区長自らの投稿等に取り組むことで、発信力の強化を図っている。また、区役所若手職員によるプロジェクトチーム「ニッシーズプロジェクト(略してニシプロ)」のテーマを明確にした取組や課長補佐級職員への兼務発令、政策推進室の設置など体制の強化も行った。
- 政策推進室が担当した、9月30日開催の『浜寺公園150周年記念イベント 子どもが主役「MIRAI」～みんなみんなつながっている～』では、大阪府や高石市、浜寺公園指定管理者、堺市西区の4者が連携する枠組みを組織し、浜寺公園150周年記念イベント実行委員会と共催して取り組むなど、今までの区役所にはなかった新たな連携を進めることにより、西区の魅力を発信する新たな西区愛、地元愛が芽生え、団体等の活動につながった。

【区長の所感】

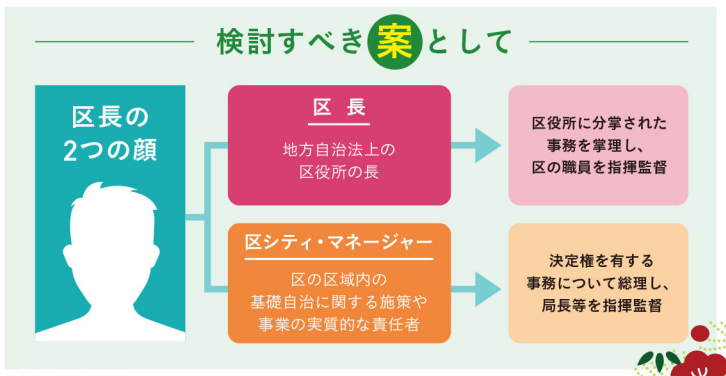
- 西区ブランド発信事業の推進という特命を受け、より成果が求められていると感じている。職員の意識改革と並行して、地域コミュニティの強化と地域の課題解決に取り組む人材の発掘・育成が必要であると考えている。
- 『浜寺公園150周年記念イベント』では、西区内の歴史や文化を強く意識し、子どもの視点を重視して実行委員会が制作した「西区PRソング」を広めるトップセールスを行い、西区ふれあいまつりで放送するなど、従来の区役所にはなかった取組に力を入れてチャレンジしている一方、西区政策会議構成員の方々など西区の魅力を発信に自ら取り組む「西区ファン」との連携については、分かりやすい目的や目標を定め、今後さらに推進していく必要があると考えている。
- 会議やコミュニケーション、広報活動やイベント、X(旧ツイッター)やインスタグラムなどを通じて職員の意識も変わってきていると感じているが、情報クオリティーや発信力を高めるための更なる考察や工夫に継続して取り組むことが必要であると感じている。

【現行の取組】

- 令和6年3月に商業施設と連携し「子どもが主役」を旗印に掲げる西区らしい子どもや子育て世代への発信、理解向上を意識し、自治連合会と連携しながら地域の歴史や文化、安全安心の取組など西区が誇る様々な魅力資源を「地域学」として、面的にストーリー性をつないで発信する予定。
- また、今期の西区政策会議のテーマを「DXによる西区の未来について」に定め会議を進めている。よりよい西区の近未来を想像しつつ、DXによる安全安心かつ快適な地域社会システムの構築をめざしたい。「住みたい・住み続けたい西区」の実現に向け、近未来の礎になるような取組を推進する。

【上野の考察、提案】

- 民間から採用された公募区長により、スピード感や着眼点等の気づきがあり前進したのは成果。とはいえ、区長の権限は限定されている。大阪市では先んじてこの課題に行きつき、「区シティ・マネージャー」を設置し、シティ・マネージャーの職務分掌を「地方自治法上の区役所業務の長」より枠を広げ、「区域内の施策や事業の実質的な責任者」とし、区長を区シティ・マネージャーに充てるということをはじめていきます。区長の格付けや予算編成権、人事権をはじめ、どうすれば住民の意見をより反映する「ニア・イズ・ベター」を実行できるのかという取組。人口規模では他の市区町村よりも大きく(大阪市・堺市の区をばらすと大阪府下で72市区町村中21番目)、都市間競争・市内各区の切磋琢磨でもより区長の能力を発揮できる体制構築を推進することが必要である。



堺市政のことならお気軽にご相談ください!!

〒593-8312 堺市西区草部 82 TEL: 090-9457-6426 FAX: 072-228-5902

MAIL: atsushiueno0719@gmail.com